

株式会社日本農業への出資について

～輸出バリューチェーン垂直統合による日本産農産物の輸出強化、産地競争力強化に向けた取り組み～



アグリビジネス投資育成株式会社（取締役代表執行役：松本恭幸）は、このたび、日本の農産物や品種の輸出を通じて「日本の農業で世界を驚かす」ことをミッションとする株式会社日本農業（代表取締役：内藤祥平）に出資しましたのでお知らせいたします。

日本農業（以下「当社」）は、これまで様々な日本産農産物の輸出に取り組んでおり、タイを始めとした現地に営業人員を置き、日本産農産物の魅力を効果的に海外一般消費者へ伝えられるよう市場調査、ブランドの推進、コンサignment契約による棚作り等様々な施策に取り組んでいます。当社ブランド「ESSENCE」を通し、限定的だった日本産りんご市場をタイやインドネシア等の東南アジア諸国を中心に開拓・拡大し、特にタイ・ベトナム・インドネシアについては当社が2016年に参入以降日本産りんご輸出総額は2倍に増加しました。当社はりんごを始めとした日本産農作物の魅力を海外の消費者に伝え、日本の農産物全体の需要を高めるとともに、付加価値を高めることをミッションとしています。また、日本の優良な農産物の品種を活用したビジネス機会を模索すべく、知財保護策の実施と合わせて海外生産も今後展開する計画です。

当社では、今回調達した資金を活用し、青森県におけるりんご高密度植矮化栽培拡大や、選果場等の設備投資により、一層のりんご輸出拡大に努めるとともに、海外現地での日本産農作物のブランド力・マーケティング力強化を図ることで、日本政府が掲げる農林水産物・食品の輸出額5兆円達成の牽引役として事業拡大を進める計画です。

アグリビジネス投資育成株式会社（以下「弊社」）は2002年10月の設立以来、農業法人の財務、経営、事業を支援すべく、600社を超える同法人の皆様への投資育成事業を行って参りました。2022年2月には拡大改正された「農林漁業法人等への投資の円滑化に対する特別措置法」（以下「改正投資円滑化法」）に基づき、投資対象とする事業領域を漁業・林業法人、国内外の「食のバリューチェーン」に参加する広範な企業、ベンチャーに拡大いたしました。本件は、弊社における改正投資円滑化法の適用第一号案件となります。日本農業はりんごを代表とした日本産

農作物の海外輸出において、輸出バリューチェーンの垂直統合により、ブランディング、マーケティング、マーケットインによる産地形成までトータルでの付加価値創出を目指すビジネスモデルを指向しており、「日本産農産物の輸出拡大による生産者所得の向上」「マーケットインの発想による産地形成」「効率的な農業生産技術の導入による競争力強化」「日本産農産物の知財保護」など改正投資円滑化法の趣旨に合致するものと考えております。

弊社は、本件投資後においても幅広い農業法人とのネットワーク、株主である日本政策金融公庫や農林中央金庫、および JA グループのネットワークを活用し、当社事業戦略を全面的にサポートしていく予定です。

また、本件出資を通じて、農林水産業を取り巻くサステナビリティの課題である気候変動や飢餓対応、環境保全等の環境・社会課題について、当社と継続的な連携・対話を行い、課題解決に貢献してまいります。

我が国の農林水産業は需要供給の両面で縮小傾向にあり、同産業が支えてきた地方も衰退の危機にあります。弊社は農林水産業を中心に展開する食のバリューチェーンの生産性と競争力を高め、付加価値化や新たな市場開拓で需要を拡大し、その結果として農林水産業と食品関連産業の成長産業化と地方再生・活性化の達成を目指しております。引き続き弊社は、出資機能を通じて環境・社会課題の解決に貢献し、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

アグリビジネス投資育成株式会社 総務部 中原 TEL : 03-5577-6377